

## 急成長するイノベーション企業が スピーディーなUI / UXデザインにAdobe XDを活用

### BIZREACH

「なにしろ軽い。そして動作が安定している。Adobe XDは私が待ち続けてきたUI/UXデザインツールです」

プロダクトデザイン部 HRMOS採用管理事業グループ マネージャー 兼  
ビズリーチ事業グループ マネージャー 兼 デザイン戦略室 マネージャー/IA 福山 憲司氏

#### 導入製品

##### Creative Cloud グループ版

デスクトップアプリ ・ Adobe XD CC ・ Adobe Illustrator CC ・ Adobe Photoshop CC  
モバイルアプリ ・ Adobe Capture CC  
サービス ・ Typekit ・ Adobe Creative Cloud Libraries

#### 導入メリット

##### プロトタイプ変換を高速化



ツール内ですばやくプロトタイプに変換。他社製品と比べて1.5倍速く作れる

##### 軽い操作感が作業を効率化



アドビ製品のショートカットキーが利用できる

##### コラボレーションの進化



プロトタイプによる直観的な情報共有を実現

##### 日本語版による作業性向上



日本語ローカライズで安定した動作。意図するUIを実現できる



#### 株式会社ビズリーチ

即戦力人材と企業をつなぐ転職サイト「ビズリーチ」、挑戦する20代の転職サイト「キャリアトレ」、戦略人事クラウドサービス「HRMOS（ハーモス）」、求人検索エンジン「スタンバイ」、OB/OG訪問ネットワークサービス「BizReach Campus（ビズリーチ・キャンパス）」、お腹を空かせた学生のための肉食就活サイト「ニクリーチ」、事業承継M&Aプラットフォーム「BizReach SUCCEED（ビズリーチ・サクシード）」、キャリア女性のための転職サイト「BizReach Woman（ビズリーチ・ウーマン）」、「BizHint（ビズヒント）」伸びる会社は知っているシンガポール、香港を中心としたアジア太平洋地域のハイクラス人材転職サイト「RegionUP（リージョンアップ）」

人材と企業をインターネットで結ぶ転職サイトなど、働き方を変えるサービスで注目される株式会社ビズリーチ。2009年の創業以来、急成長を続ける同社は300名規模のデザイナー・エンジニアを擁し、自社プロダクトを内製する事業会社である。スピード感ある事業展開が求められる中、デザインの現場ではUI / UXデザインからプロトタイプ変換まで一元的に対応するAdobe XDが大きな力を発揮している。

#### ■ 導入の経緯

##### プロダクト制作の内製化で事業展開のスピードに対応

人材領域を中心に事業を展開する株式会社ビズリーチは、積極的なテレビCMの影響もあり、その名を知る人は多い。しかし、同社が70名のデザイナーと230名のエンジニアを擁し、自社コンテンツを内製するクリエイティブチームでもあることを知る人は少ないはずだ。その理由をビズリーチ デザイン本部 プロダクトデザイン室 室長の福山 憲司氏はこう説明する。

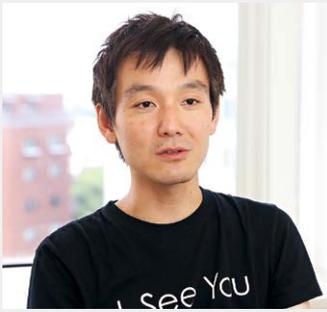
「クリエイティブのインハウス化は、採用活動も含め、大きな負荷が生じるのも事実です。それに関わらず当社が内製に取り組む第一の理由は、ずばりスピードにあります。社外の協力会社とやり取りして作業を進めるのでは、全くスピード感が違いますからね」

スピード感は、同社を語るキーワードでもある。創業は2009年。2013年に100名だった従業員数は現在約1,300名。この急成長を支える一つに内製化があることは間違いない。

#### ■ 選択のポイント

##### より早く、より安定的に作業できるツールが必要だった

即戦力人材の「ビズリーチ」、20代を対象とした「キャリアトレ」などで知られる同社が現在、力を入れているのが、戦略人事クラウド「HRMOS（ハーモス）」と名付けられた新サービスだ。そのシリーズの一つで



ビズリーチ デザイン本部  
プロダクトデザイン室 室長  
福山 憲司氏



デザイン本部 デザイン戦略推進室  
デザイン・ブランディンググループ 兼  
プロダクトデザイン室 HRMOS採用管理  
事業グループ (プロダクトデザイン)  
五十嵐 未夏氏

## USER PROFILE

### 株式会社ビズリーチ

所在地：東京都渋谷区渋谷2-15-1

創業：2009年4月

資本金：41億円（資本準備金を含む）

従業員数：1,291名（2018年8月時点）

事業内容：インターネットを使ったサービス事業



## 詳細情報

[adobe.com/go/cct](https://adobe.com/go/cct)



アドビシステムズ株式会社  
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2  
ゲートシティ大崎イーストタワー  
[www.adobe.com/jp/](https://www.adobe.com/jp/)

Adobe Systems Incorporated  
345 Park Avenue  
San Jose, CA 95110-2704  
USA  
[www.adobe.com](https://www.adobe.com)

ある「HRMOS採用管理」は、採用プロセスをはじめとする多様な人事情報を蓄積したデータベースを中核にクラウドで展開しており、既に多くの企業で導入が進んでいる。それに伴い、同社の制作部門は顧客ニーズに対応した多様なUIを、より短期間で仕上げるのが強く求められている。こうした中、デザイン部門のスタッフは従来のUI／UXデザインツールに不満を感じる事が少なくなかった。特にプロトタイプ変換の待ち時間の長さは大きな問題になっていた。こうした中で登場したのが、デザインツール内の簡単な操作だけですばやくプロトタイプ変換が行えるAdobe XDだった。

## ■ 導入効果

### プロトタイプ変換の待ち時間を大幅削減

Adobe XD導入の第一の効果は、プロトタイプ変換の圧倒的な速さだった。HRMOSのUIを担当するデザイン本部 デザイン戦略推進室 デザイン・ブランディンググループ 兼 プロダクトデザイン室 HRMOS採用管理事業グループ(プロダクトデザイン)の五十嵐 未夏氏はこう証言する。

「従来のUIデザインツールでプロトタイプ変換を行うには、変換ツールにデータを送る必要がありました。依頼されたその日のうちにUIを仕上げるのが基本になるだけに、その待ち時間には大きなストレスを感じていました。Adobe XDを使うようになってからは、ツール内で即座にプロトタイプ変換が行えるようになり、スピード感を維持したまま、作業が続けられるようになりました」



### 軽い操作感が作業を効率化

レスポンスの速さも高く評価するポイントの一つだ。

「作業効率の向上には、軽い操作感でサクサクと動く点も大きく貢献しています。また機能が絞りがり込まれている点にも好印象を持っています。私はデザインとは本来、何かを加えるのではなくそぎ落としていくことだと考えています。そういう意味でAdobe XDには、デザイナーにとって必要にして十分な機能が備わっています」(福山氏)

アドビ製品に共通するショートカットキーが利用できる点も見落とすわけにはいかない。

「私の場合、デザインという仕事をはじめて20年になりますが、その間、ずっとIllustratorをはじめとするアドビ製品が身近な場所にありました。ベータ版が出てすぐにAdobe XDに飛びついた理由の一つには、その中で覚えたさまざまなショートカットキーがそのまま使えるという点もありました」(福山氏)

作業の慣れもあるが、プロトタイプ変換の速さと操作感の向上により、他社製品と比較しても体感的に1.5倍以上速く作成できるようになったと五十嵐氏は言う。さらに、日本語入力時の安定性や、和文欧文が混ざった文章でのプレビューの精度、またline-heightの正確性などは、日本語のUIを扱う国内のプロダクトデザイナーにとって、生産性に大きく影響する優位性であると福山氏は評価する。

### より効果的なコラボレーションを実現

同社は現在、プロトタイプの共有にCreative Cloudライブラリを活用することで、デザイナーとエンジニアのコラボレーションに大きな成果を上げている。

「画面遷移やアニメーションの動きが検証できるプロトタイプは、コラボレーションの観点でも有効に機能します。当社ではCreative Cloudライブラリでプロトタイプを共有し、デザインレビュー後、デザイナーによるUIの手直しとエンジニアによる基本設計を並行して行う取り組みも進めています」(福山氏)

なおデザインレビューは、Adobe XDのコメント機能と社内コミュニケーションツールを併用しているという。

「画面内の特定の部分についてフィードバックする場合は、Adobe XDのコメントのピン留め機能を使用し、『右上見出し』など言葉で指示できる内容については、社内チャットツールにアップしたスクリーンショットをベースに意見交換を行っています」(福山氏)

## ■ 今後の展望

### 社内チャットツールで新機能を紹介しAdobe XD活用を促進

Creative Cloudライブラリは、2018年8月時点ではAdobe XDに完全対応していない。福山氏は、双方の連携強化に大きな期待を寄せている。

「現時点では未対応ですが、例えばシンボルを共有できるようになるとすごいことになると思います。スタッフ間でアセットを共有できるようになることの意味はかなり大きいので、とても期待しています。また当社では、毎月のアップデートの都度、社内チャットツールで新機能を紹介しています。今後もAdobe XDの活用を通し、一層の業務の効率化を図っていきたく考えています」